



2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月3日
ジーエルサイエンス株式会社
東証STD (7705)

目次

- ハイライト P.3
- 2024年3月期 第1四半期決算概要
 - ・ 全社 P.5
 - ・ セグメント別 P.7
 - ・ 施策と進捗状況 P.11
- 2024年3月期業績・配当予想等 P.12
- 直近のトピックス P.15

ハイライト

1

【全社】減収・減益

売上高： 8,181百万円 ▲ 3.9% ▲333百万円（前1Q：8,514百万円）

営業利益：1,079百万円 ▲14.7% ▲185百万円（前1Q：1,264百万円）

2

【分析機器事業】増収・増益

売上高： 3,740百万円 +3.1% +112百万円（前1Q：3,627百万円）

営業利益：303百万円 +6.3% +17百万円（前1Q：285百万円）

液体クロマトグラフ用カラム、無機関連製品が好調

3

【半導体事業】減収・減益

売上高： 4,011百万円 ▲13.0% ▲597百万円（前1Q：4,608百万円）

営業利益：754百万円 ▲24.3% ▲241百万円（前1Q：996百万円）

パソコンやスマートフォン向け半導体の需要低下およびメモリーの在庫過多に起因する落ち込み

4

【自動認識事業】増収・増益

売上高： 430百万円 +54.6% +151百万円（前1Q：278百万円）

営業利益：20百万円 - +39百万円（前1Q：▲18百万円）

電子部品不足改善傾向

住居関連施設、医療関連装置へのモジュール組込み堅調

2024年3月期 第1四半期決算概要 (全社)

決算概要 (全社)

2024年3月期 1Q

減収・減益

【分析機器事業】 増収増益：液体クロマトグラフ用カラム、無機関連製品が好調

【半導体事業】 減収減益：パソコンやスマートフォン向け半導体の需要低下およびメモリーの在庫過多に起因する落ち込み

【自動認識事業】 増収増益：電子部品不足改善傾向 住居関連施設、医療関連装置へのモジュール組込み堅調

単位：百万円	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減率	増減額
売上高	8,514	8,181	▲3.9%	▲333
営業利益 (営業利益率)	1,264 (14.9%)	1,079 (13.2%)	▲14.7% (-)	▲185 (▲1.7pt)
経常利益	1,510	1,214	▲19.6%	▲296
親会社株主に帰属する 四半期純利益	750	672	▲10.3%	▲77

2024年3月期 第1四半期決算概要 (セグメント別)

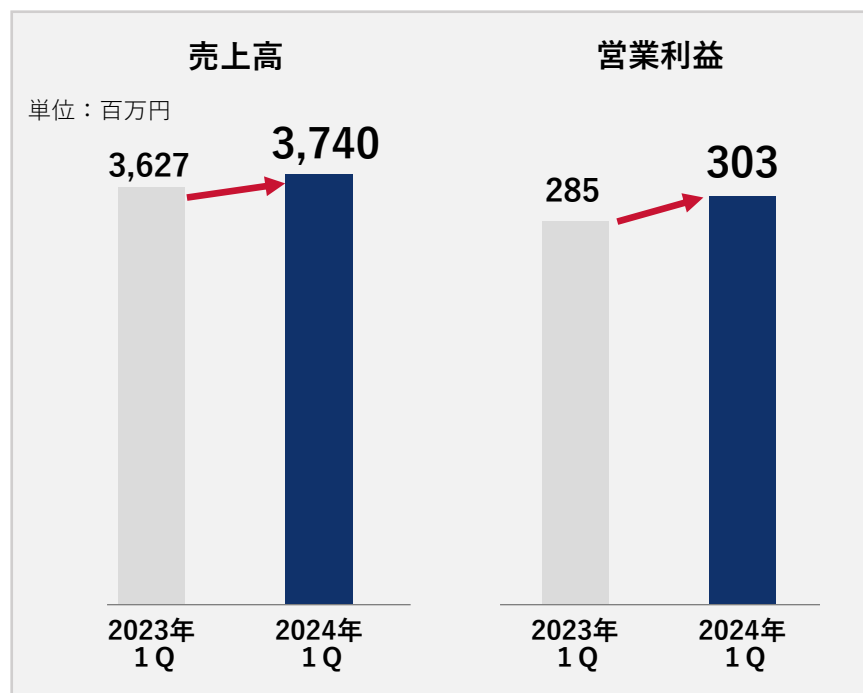
決算概要 (セグメント別) 分析機器事業



2024年3月期 1Q

増収・増益

単位：百万円	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減率	増減額
売上高	3,627	3,740	+3.1%	+112
営業利益	285	303	+6.3%	+17



要因・その他

<国内売上高>

【+増収】消耗品

◎液体クロマトグラフ用カラム、無機関連製品が好調

装置：他社装置の納期長期化の影響で装置受注は好調だが減収

<海外売上高>

【+拡大傾向】分析用消耗品の需要←コロナ禍の影響なし

【+好調】製薬企業向け液体クロマトグラフ用カラム、
海外企業向けOEM製品
(アジア、ヨーロッパ、中近東向け)

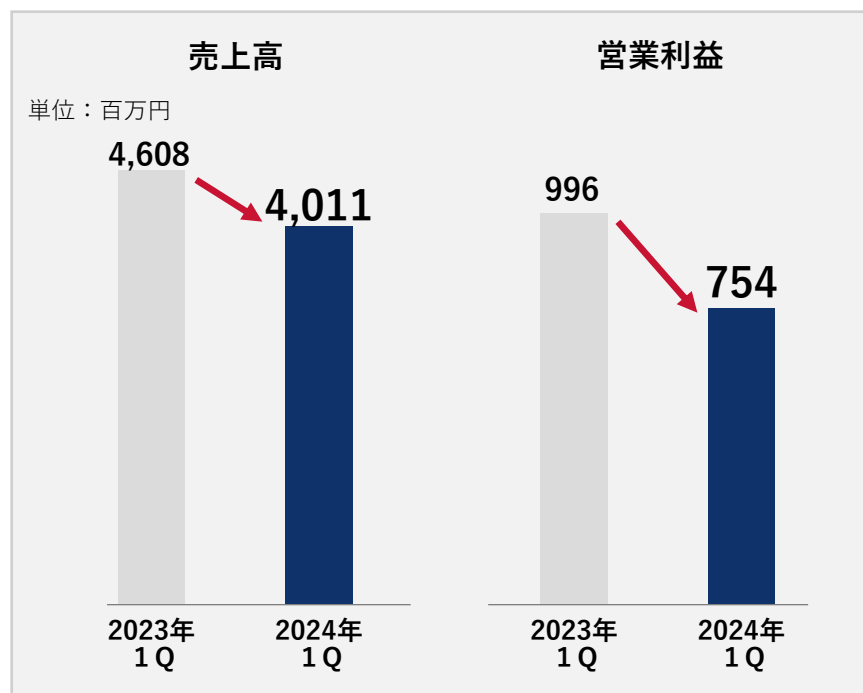
決算概要 (セグメント別) 半導体事業



2024年3月期 1Q

減収・減益

単位：百万円	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減率	増減額
売上高	4,608	4,011	▲13.0%	▲597
営業利益	996	754	▲24.3%	▲241



要因・その他

【- 需要低下】

パソコンやスマートフォン向け半導体の需要低下
およびメモリーの在庫過多に起因する落ち込み

【+ 市場動向】

製造工場の新設や増設など積極的な設備投資

半導体市場は底堅い潜在需要を背景とした拡大の
見込み

【+ 受注残】

高水準の受注残高を維持

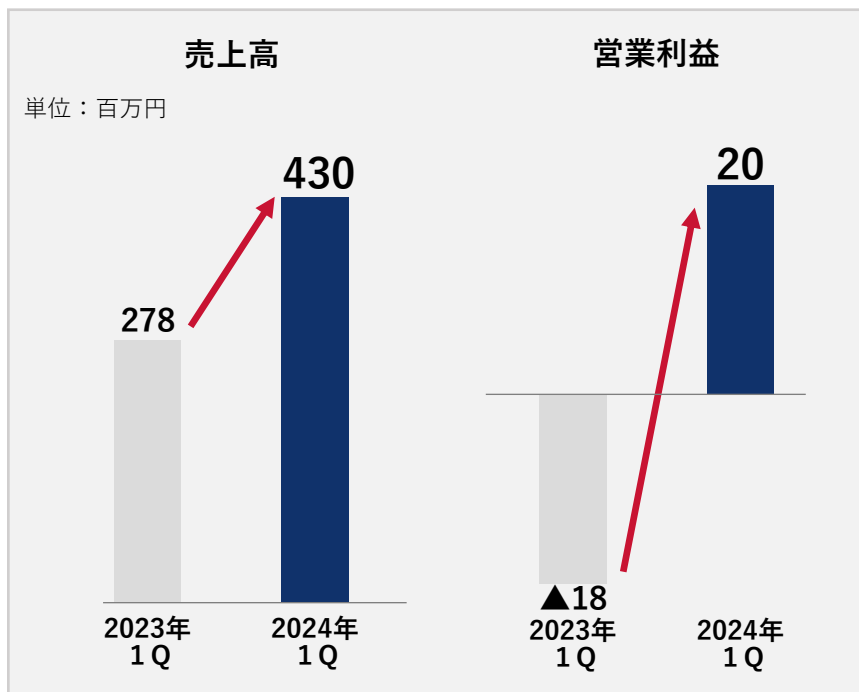
決算概要 (セグメント別) 自動認識事業



2024年3月期 1Q

増収・増益

単位：百万円	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減率	増減額
売上高	278	430	+54.6%	+151
営業利益	▲18	20	--	+39



要因・その他

全てのセグメント（「モジュール」、「完成系」、「タグ」、「ソリューション」）において増収

【+改善傾向】

- ・前期：電子部品不足の影響で利益が圧迫
- ・今期：調達改善傾向

【+堅調に推移】

- ・住居関連施設、医療関連装置へのモジュール組込み

【+新規導入推進中】

- ・大手スポーツ施設向けセキュリティソリューション、パーキング市場向けソリューションなど

施策と進捗状況

2024年3月期 1Q



施策

進捗状況 1Q

	施策	進捗状況 1Q
分析機器事業	・ LC充填カラムの販売強化	・ ラインアップ拡充 → 技術相談などの際に、より適切なカラムの提案が可能に
	・ 次世代エネルギー・カーボンニュートラル関連領域の事業拡大	・ 売上順調 ：エネルギーキャリアや燃料用途のアンモニアの合成プロセスの研究等で使われている、水素・窒素・アンモニア分析システムなど
半導体事業	・ アメリカの対中国輸出規制への対応	・ テクノクオーツ製品 ：現時点では輸出規制の影響は僅少 ・ 中国国内需要拡大策：中国国内の半導体製造装置メーカーへの営業活動を推進 ← 今後の規制強化リスクに備え
自動認識事業	・ セキュアマイコン搭載機器の市場投入	・ 搭載機器の 開発完了 → 量産提供開始 （交通系・金融系）
	・ パーキング市場向けソリューションの提供開始	・ 試作 開発完了 → 試作機納入、市場環境でのフィールドテスト開始



2024年3月期 業績・配当予想等

2024年3月期 業績予想 全社

2024年3月期 1Q

(予想) 減収・減益

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	38,679	38,240	▲1.1%	▲439
営業利益	6,034	5,650	▲6.4%	▲384
営業利益率	15.6%	14.8%	-	▲0.8pt
経常利益	6,468	5,710	▲11.7%	▲758
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,499	3,150	▲10.0%	▲349
年間配当(円)	65	60	-	▲5

2024年3月期 業績予想 セグメント別

2024年3月期 1Q

単位：百万円		2023年3月期	2024年3月期 (予想)	増減率	増減額
分析機器事業	売上高	17,163	17,530	2.1%	366
	営業利益	1,888	1,880	▲0.5%	▲8
半導体事業	売上高	20,003	18,930	▲5.4%	▲1,073
	営業利益	4,068	3,660	▲10.0%	▲408
自動認識事業	売上高	1,513	1,780	17.6%	266
	営業利益	67	110	62.3%	42

直近のトピックス

JASIS2023 オンライン展示会「WebExpo」へ出展

この度、当社はJASIS2023 オンライン展示会「WebExpo」へ出展いたします。
当社ブースでは、《基礎から応用まで活用できる技術情報》や《新製品のご紹介》など盛り沢山の情報を掲載しています。この機会に、是非ご覧ください。

【PLATINUMSPONSOR】

当社はJASIS WebExpo2023において唯一のPLATINUMSPONSORです。本展示会のメインスポンサーとして展示会の開催をサポートしてまいります。



JASIS
WebExpo
2023

2023.7.5^{WED} >>> 11.30^{FRI}



■JASISとは

科学の進歩を支える、分析機器、科学機器メーカーが一堂に会する最先端科学・分析システム&ソリューション展。

JASIS (ジャシス=Japan Analytical & Scientific Instruments Showの頭文字)は、2012年の第50回分析展 (日本分析機器工業会) と第35回科学機器展 (日本科学機器協会) を機に、合同展の統一名称として定められたもの。

この分野でのアジア最大級の展示会として、世界をリードする各種業界、関連機関と更なる連携強化をはかり、将来の科学の進歩への貢献、ビジネス発展への発見がある場であることを目指している。

新HPLCカラム「InertSustain C30」新発売

- ・ InertSustain C30 は、シリカゲルにトリアコンチル基を化学結合したカラム
- ・ 脂溶性の高い化合物において、異性体や類似構造を持つ化合物同士の分離に優れた性能を発揮
- ・ フェニルカラムと比べて低ブリードを実現しているため、グラジエント分析においても安心して使用可能



■特長

- ・ ODSカラムと異なる分離パターン
- ・ 立体選択性が高く、異性体や類似化合物の分離に最適
- ・ 水系100%溶離液で使用可能
- ・ 低ブリード

■ カラムとは

クロマトグラフ（化学的・物理的な性質や相互作用を利用して物質を分離させる装置）で使用する消耗品の一つ。正確な定量のためには、目的成分を他の成分から分離させることは不可欠。

クロマトグラフにおいては、カラムの中で科学的な相互作用が起こり、目的成分とそれ以外の成分（夾雑成分や不純物など）との分離が行われる。

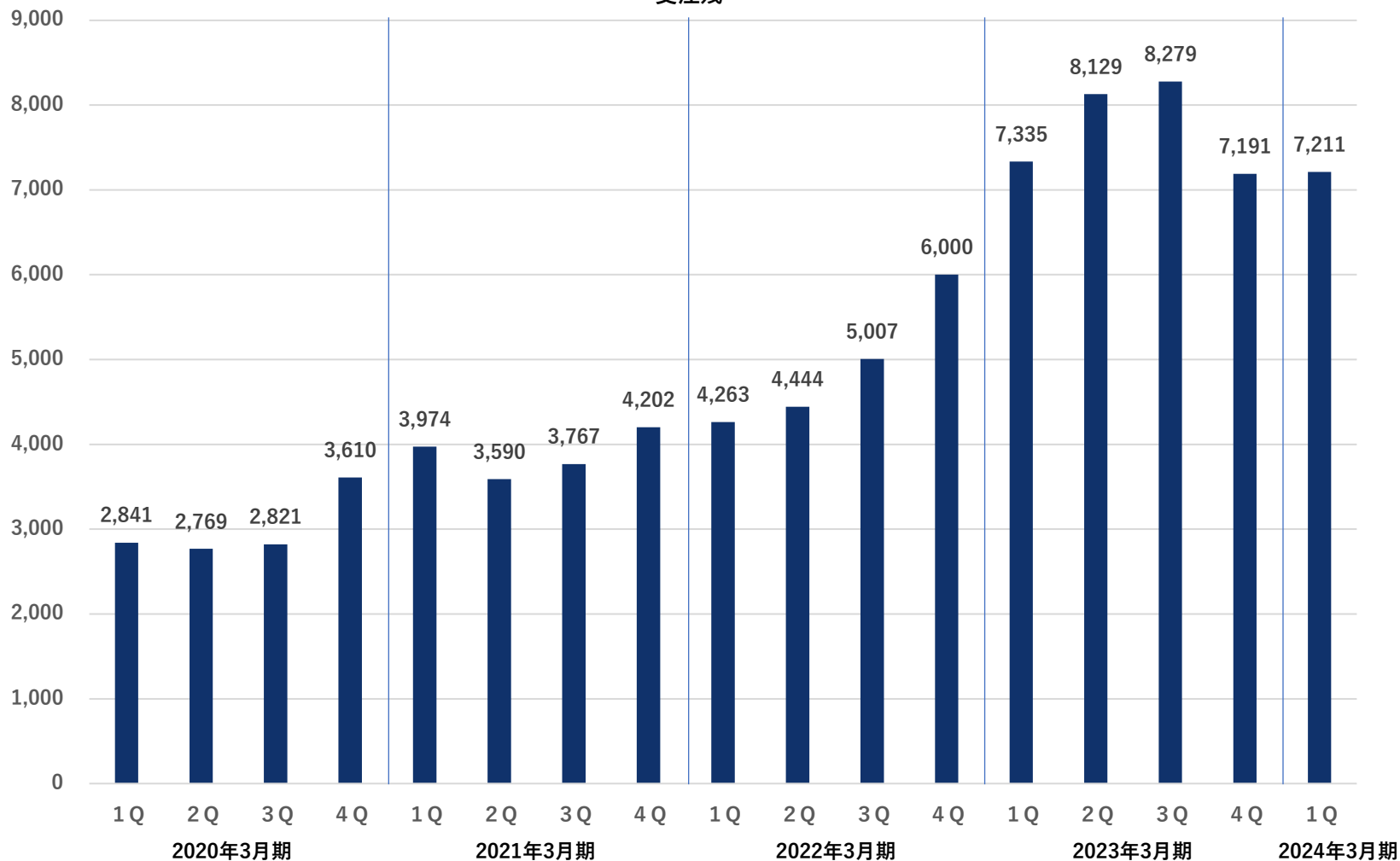
カラムの種類によって分離のパターンは変わるため、目的とする分析によって適切なカラムを選択し使い分ける必要がある。

2024年3月期 1Q

受注残は2023年3月期に近い水準を維持

単位：百万円

受注残



2024年3月期 1Q

新発売

「ICストレージキャビネット/ストキャビUHF」新発売

- ・キャビネット内の物品毎につけたUHF帯RFIDタグを検知する仕組み。
- ・閉扉がされたタイミングで貸出・返却を自動認識。
- ・画面操作なく、社員証・学生証ICカードで簡単に物品の貸出・返却が可能。
- ・キャビネット内を自由にアレンジ、一括での貸出・返却にも対応可能。

適用事例



一般企業：備品、特許書類、印章類の保管
パソコン、USBメモリなど媒体持出管理

建築・製造業：工具、計測機器、設計図面の管理

医療機関：劇薬、カルテ、医療機器の保管

教育機関：試験問題、個人情報書類、施設カギ

小型ストキャビUHFが新登場！
基本機能はそのままに、小容量の保管・管理に最適。

①かざす



②取り出す



③貸出完了



免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルサイエンス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

【当資料に関するお問い合わせ先】

ジーエルサイエンス株式会社

TEL : 03-5323-6633

FAX : 03-5323-6636

URL : <https://www.gls.co.jp>

支える、あらゆる分析を。

Separation Sciences for All

